

議員提出議案の概要及び処理結果

第6回定例会で可決された意見書・決議の要旨と議決結果は次のとおりとなっています。

なお、可決された意見書等については、その趣旨の実現へ向けた速やかな対応を求めるため、直訴要請及び、関係省庁へ送付しております。

琉球王国の歴史と文化を象徴する首里城の早期再建を求める意見書

要旨
提出者 長浜 信夫

那覇市首里当蔵町にある首里城で火災が発生し、御庭を囲む正殿、北殿、南殿の主要建築物と書院・鎖之間、黄金御殿、二階御殿、奉神門の7棟、あわせて約4800平方メートルと琉球王国の多数の美術工芸品が消失し、県民に深い悲しみと衝撃を与えている。

世界に誇る琉球王国の貴重な歴史的文化遺産を回復する目的で復元された首里城は、新たに県民文化の創出と伝統技術の継承・発展



島袋芳敬県政策調整監へ要請書を手交する石垣市議団

を図り、歴史的風土探訪の場として、年間280万人の観光客を集めるなど大きな役割も担っている。しかし、今回の火災によって、その新たな役割とともに沖縄のアイデンティティ、文化、観光、経済の発展、文化遺産の復元保存などにも重大な影響を及ぼす事情となっている。

よって当市議会は、市民や県民、多くの県出身者や関係者が、切望する琉球王国の歴史と文化を象徴する首里城の早期再建に向けて、国と県、関係機関が連携し日本復帰50周年を迎

える2022年までに防火・防災に強い再建計画、実施計画等を策定すること。

そして、一刻も早い首里城の再建復元をめざし、特別な財政措置を含め積極的な推進を図るとともに、市民、県民の皆様をはじめ、首里城の再建を願う多くの皆様の力と英知を結集して心ひとつに取り組むよう、石垣市議会として強く要望する。

○提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、国土交通大臣、沖縄及び北方対策担当大臣、文部科学大臣、文化庁長官、沖縄県知事

(結果) 全会一致で可決

沖縄県委託業務が大規模通信障害を招く一因となった事への原因究明の徹底、再発防止を求める意見書

提出者 砥板 芳行

要旨

令和元年9月30日午後9

時頃、石垣市並びに竹富町の全域にて、固定電話、携帯電話、ネット回線、専用回線のほぼ全ての通信が遮断されるという先例のない大規模な通信障害が発生した。この日は、台風18号が八重山地方に接近しており、通信障害が発生した時間帯は、台風最接近と重なり、通信障害の状況を把握出来ない全ての住民や観光客等の市内滞在者は、不安な一夜を過ごした。

大規模通信障害は、翌日の10月1日午前9時頃に復旧したが、通信が遮断されていた時間帯は、119番や110番等の緊急電話も使えず、新石垣空港では午前の発着便22便が欠航し、約2800人に影響が出た他、消費税増税初日という事もあり市内事業所ではレジのシステム更新に支障が出るなど、経済活動にも甚大な影響を及ぼした。

宮古島を経由する通信ケーブルの破損は台風による自然災害と言えらるが、与那国島での通信ケーブル破損は、沖縄県の業務に伴う人為的な破損によるもの

で、業務を管理監督する沖縄県の責任は重大であるにも関わらず、通信ケーブルを破損した事をその日のうちに石垣市に報告せず、石垣市が把握したのは、大規模通信障害発生時に県の報告を受けてからである。また、大規模通信障害後も石垣市、竹富町、関係機関への謝罪、原因説明、再発防止説明は行われていない。

よって当市議会は、原因究明の徹底、再発防止策の構築を強く求める。

○提出先 沖縄県知事、沖縄県議会議長、八重山選出県議会議員

(結果) 全会一致で可決



県の宮城力企画部長が謝罪のため来島した(議長室にて意見書を手交する様子)